

第1回PDA高校生 即興型英語ディベート全国大会出場

～ 全国の強豪相手に勝利をつかむ。ベストPOI賞を受賞（荻野さん）～



第一試合



第四試合



会場にて

2015年12月26日（土）・27日（日）、大阪府立大学の「I-site なんば」を会場として、第一回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会が開催されました。佐野高校からは **荻野紗帆さん**（2-3）、**磯部理恵さん**、**大森沙也花さん**、**石川真麗奈さん**（以上2-1）の4名が、勇気ある挑戦者として出場しました。即興型ディベートは、論題がその場で示され15分間の準備の後に対戦しなければなりません。そこでは、英語力はもちろん、幅広い知識や論理的思考力、プレゼンテーション力、チームワークなどが必要とされます。

佐高以外の高校のチームは、ディベート部として活動しているのに対して、佐高の生徒は全くゼロからのスタートでした。8月下旬に「12月の全国大会を目指してディベートをやるのだけど、そのレベルまでやりたい人」という、教員からの無謀な提案に果敢に挑戦してくれた2年生8名（大会に参加した4名と、大会には出場しなかったけれども一緒に練習をした4名）のチャレンジ精神に敬意を表します。佐野高校が26日に対戦した予選4試合の内容と結果を報告します。

- | | | |
|------|-----|--|
| 第一試合 | 対戦校 | 浅野学園浅野高等学校 Aチーム |
| | 論題 | 「部活動の指導を外注すべきだ。」
We should outsource coaching of club activities. |
| 第二試合 | 対戦校 | 長野県立松本深志高等学校 |
| | 論題 | 「新聞に軽減税率を適用すべきだ。」
Reduced tax rate should be applied to newspapers. |
| 第三試合 | 対戦校 | 熊本県立八代高等学校 |
| | 論題 | 「別れた恋人の写真を捨てるべきだ。」
Pictures of the ex-boyfriend / girlfriend should be thrown away. |
| 第四試合 | 対戦校 | 浅野学園浅野高等学校 Bチーム |
| | 論題 | 「同性婚を合法化すべきだ。」
Same-sex marriage should be legalized. |

<試合結果>

- 第一試合・・・佐高チームは、初めての大会ということで緊張し、相手の反論に対し、臨機応変に反論できず敗北。自分たちが事前の15分間の準備時間に立てた主張をあくまで述べただけで終わってしまいました。ちなみに、対戦校の浅野学園浅野高等学校は、昨年度、東大合格者40名の進学校です。
- 第二試合・・・途中までは両チーム譲らず。しかし、最後に相手チームから効果的な反論をされ、佐高チームが有効な反論ができなかったため敗北。生徒は20分間英語を聞き、話し続ける試合を連続してやることに気持ちが折れそうになっていました。ちなみに、対戦校の長野県立松本深志高等学校は長野県の名門進学校です。
- 第三試合・・・第二試合の反省を生かし、相手の論に反論として言いたいことは全て言い切ることができ、**初勝利**。佐野高校にとって、**歴史的な勝利**でした。荻野さんは、この試合の「ベストディベーター賞」を受賞しました。ちなみに、対戦校の熊本県立八代高等学校は、今回の全国大会の結果、特別枠（3校）で「世界大会」に出場することとなりました。県立の中高一貫教育校で、本校と同様に、グローバル人材育成に力を入れている進学校です。
- 第四試合・・・第三試合の勝利でつかんだ流れで健闘。しかし、勝敗を出さないクロージングゲームのため、勝敗は不明。対戦校は、浅野学園浅野高等学校のBチーム。

- ・ **1勝2敗**のため、翌日の決勝リーグには出場できませんでした（36チーム中8チームが決勝リーグに進む。）しかし、決勝リーグで、特に決勝戦の「甲陽学院高等学校VS渋谷教育学園渋谷高等学校」（甲陽学院が優勝）では、非常にレベルの高い試合を観戦することができました。
- ・ **荻野さん**が、全参加者の中から「**ベストPOI賞(best POI prize)**」を受賞しました。これは、相手チームのスピーチ中に行う鋭い質疑応答（Point of Information）が高く評価されたもので、**快挙**といえるものです。（引率教諭：高山、柳澤）



出場者

出場校	
■ 栃木県立佐野高等学校 1	■ 関西創価高等学校 1
■ 物木県立宇都宮女子高等学校 2	■ 大阪教育大学附属高等学校 平野校舎 2
■ 群馬県立前橋高等学校 1	■ 神戸市立聾合高等学校 1
■ さいたま市立浦和高等学校 2	■ 甲陽学院高等学校 1
■ 埼玉県立浦和高等学校 2	■ ノートルダム清心学園 清心女子高等学校 2
■ 翔凌高等学校 2	■ 山口県立大津緑洋高等学校 2
■ 筑波大学附属駒場高等学校 1	■ 福岡県立城南高等学校 1
■ 渋谷教育学園渋谷高等学校 2	■ 熊本県立八代高等学校 2
■ 神奈川県立厚木高等学校 2	■ 四天王寺高等学校 (swing)
■ 浅野学園浅野中学・高等学校 2	24校36チーム
■ 長野県松本深志高等学校 2	
■ 長野県松本県ヶ丘高等学校 1	
■ 聖マリア女学院高等学校 1	
■ 清林館高等学校 1	
■ 高島高等学校 1	

出場校

<全国大会に参加した感想>

ジャッジの方から議論の深め方を教えていただく中で、新しい知識を得ることができました。議論後に対戦チームとの会話も楽しむことができ、全国から出場していることを実感するとともに、和みもある大会でした。（荻野さん）

私はこのディベートの大会を通して、自分の英語力のなさを痛感しました。また、同時に英語ができるだけでもだめだということも感じました。準決勝や決勝の試合を観て、彼らのスピーチ力の高さに驚きました。英語を学ぶと同時にスピーチ力もつけていく必要があると思います。（磯部さん）

様々な高校生と戦う中で、自分の思っていることを英語で表現することの難しさ、日本の抱える課題に対する多面的な考え方を持つことの大切さを学びました。結果は1勝2敗で悔しいですが、精一杯、自分の実力を出すことができました。（大森さん）

全国大会の試合はとても刺激的でした。特に1日目は様々なチームの試合を見ていて、自分の言いたいことを強調する話し方や論の組み立て方など、学ぶことがたくさんありました。今までの練習の中では気づくことができなかった多くのことを知ることができ、充実した時間でした。（石川さん）